

新連携事業でトラック内壁材を台湾で製造委託 (帝北自動車 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地: 北海道帯広市大通南3丁目13番地
- 代表者: 代表取締役 河原 哲也
- 資本金: 1,000万円
- 売上高: 13億円
- 従業員数: 38名
- URL: <http://www.teihoku.co.jp/>

①事業概要

<自動車部品等製造・販売>

北海道帯広市内で自動車部品・用品の卸売業を営んでおり、トラック業界が抱える積み荷の偏心による事故や輸送コスト及び排出ガスの削減等の課題解決のため、冷凍車用樹脂複合材製トラック内壁材の台湾への製造委託事業の話が平成18年に入ってきた。この事業は当社にとって新事業となり、かつ複数社が関わっているため、新連携事業の認定を受けるために、中小機構北海道支部に相談した。

②海外展開概要

<台湾への販路開拓>

台湾での委託加工を考え、実際に3回現地に行き、情報を集めた。しかし、やり方を確かなものとすべく、中小機構に相談した。台湾駐在歴6年の専門員から自身の台湾でのビジネス経験を踏まえて、台湾は、日本に親近感を抱く所で、総じて真面目で技術的にもIT系有名ブランドがOEMなどにより委託生産を行っている地である。ただ、台湾が親日的な土地柄とはいえ、日本のビジネス慣行をそのまま持ち込むことは出来ない。例えば「ビジネス交渉においては主張すべきは主張し、一方宴会では出来るだけ和やかに」と取引上の注意事項や意識の違い、ギャップの解消の仕方などについてアドバイスを受けた。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

平成19年に中小機構の現地同行アドバイス制度を活用し、台湾を訪問した。結果的に台湾からは事業の受託の合意を得た。また、現地同行アドバイスにおいて、台湾の現状、付き合い方など詳細なアドバイスを受けた。事業の実現性が認められ、新連携事業が認定された。その後、新製品作りに労力を注ぎ、3ヶ月に1回の割合で中小機構北海道支部で対面やメールによる相談を受けた。平成21年には2回目の現地同行アドバイスを活用し、工場内部のレイアウトを検討したり、日台5社による合弁会社設立に際しての留意事項などのアドバイスを受けた。

④今後の事業展開について

現在国内において販促活動を行っている最中で、輸送業界の経営環境等や物流市場における環境等々、運送事業者を取り巻く環境の悪化により、拡販にまで繋がっていない。ただ、最近では冷凍トラック用でなく、看板用など別の使用法での問い合わせがあるので、別な分野での使用法を模索している。



(平成24年10月現在)

データ出所:(独)中小企業基盤整備機構